

東レの部分植物由来ポリエステル繊維は、通常の石油由来テレフタル酸とサトウキビを粗原料とする植物由来エチレングリコールを重合・熔融紡糸した、植物由来原料割合約30%のポリエステル繊維です。
石油由来ポリエステル繊維と同等の性能を持ち合わせており、作業服をはじめとする各種用途に展開可能な素材です。

植物由来の合繊素材で未来を変える

東レは、部分植物由来ポリエステル繊維で持続的発展が可能な低炭素社会の実現に貢献します！

21世紀は脱石油社会への転換の時代。

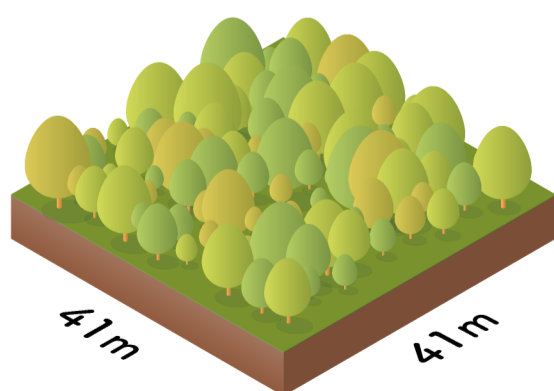
自動車やエネルギー分野では、脱石油依存の技術革新が進むが化学製品は？

“エネルギー消費の抑制”と“脱石油社会の実現”という観点から東レは
植物由来の合繊素材の普及に注力しています。



TOTOKU 新ユニフォームの CO₂ 排出削減貢献量を森林で換算すると…

本案件で予想される CO₂ 排出削減貢献量※：**757.50** kg-CO₂-eq/kg-polymer



ブナ等の天然林 **0.17** ha が1年間に CO₂ を吸収する量に相当 (参考値)※

※いくつかの前提条件をベースに試算されたものです。